

しみん基金・KOBE NEWS



Vol.45

2018年7月号

身特 第近集 なCRMに大注目 寄付つき商品 第3弾始動

CONTENTS

特集 身近なCRMに大注目第3弾始動

ネットオークション「モノでキフ」はじめました

平成30年度定時総会報告

平成30年度はあ～とふるふあんど支援団体発表
／理事就任あいさつ

特集

身近な
寄付つき商品

C R Mに大注目!

第3弾始動!

コース・リレイテッド・マーケティング第3弾が、
(株)フルハウスのご協力で始動しました!これから
企業市民としての社会活動とは?



は全て後払いのため、一旦は全額自己負担する必要もあります。そのため、災害時に倒壊の危険のある家屋であっても、ある程度の金額がかかる耐震補強工事には二の足を踏む方もおられるのが現実です。そこで、「何もないことが次の被災者を生む」と考え、何よりも決断できる価格にこだわり、最も費用対効果の高い商品開発を行い、柱のほど抜けを防ぐため外壁に取り付けるだけの補強工事「23万円(工事費含む)からできるパワープレートシリーズ」で命だけは必ず守る耐震対策を普及させていく事業を進めておられるのが(株)フルハウスです。今日は、このパワープレートシリーズの金具を使い、(株)フルハウスが直接施工までされた際の金具代金の5%を当基金への寄付として託していただきました。いたいたご寄付は、当基金の助成事業で、主に、特定枠(神戸で得たノウハウやネットワークで、東北や熊本など大規模災害の被災地を支援する活動)助成に活用いたします。

被災者としての思い

一年前に、(株)夢舞台ウェスティンホテル淡路のご協力によりオリジナルマスクコット「ラステイン」商品のコースリレイティングドマーケティング(寄付つき商品)についてご紹介いたしました。ホテルでの消費が単なる消費になるのではなく、コンサマトリー(自己充足的)で、消費を通じて人と繋がり合うソーシャルな価値を附加した行為となるのです。今回はその第3弾となる商品のご紹介です。

第3弾! 寄付つき商品ご紹介

ご協力くださるのは、神戸市西区にある(株)フルハウスです。(株)フルハウスは、木造住宅専門の耐震補強工事と補強金具製造の会社です。政府の地震調査委員会の昨年の発表によると、静岡県から九州沖合にかけての南海トラフ沿いでマグニチュード8~9級の大地震が30年以内に起ころる確率は「70~80%」と発表されています。日本は、いつ、どこで、大きな地震が起きてもおかしくない国です。それだけに日頃からの備えが大切で、古い木造家屋を守るには、補強工事が重要なになります。ただ、壁や床・天井などを壊して基礎の上部を補強する耐震補強方法は、時間とお金がかかります。昭和56年5月31日以前に立てられた家屋の場合、行政からの補助もありますが、補助

(株)フルハウスの代表取締役である吉山さんは、阪神淡路大震災で被災され古い木造住宅の被害を目の当たりにした経験から耐震補強金具の開発に取り組みました。木造住宅の耐震対策をなんとしても普及させていかなくてはならない。その時思いを同じくする宮大工の方や金属加工のプロ、緩まないナットの開発者など、いろいろな仲間の協力を得、開発費用をかけることなく、新しい耐震補強金具を開発することができます。この開発費用をかけなかつたことが、23万円からという安価な耐震補強工事を可能にしている

耐震補強パワープレートシリーズ

企業に社会貢献が求められる時代から、企業市民としての社会責任が問われるようになった今、コーナーズリレイテッドマーケティングには、企業とNPOとのミッショングが合致していることが必要です。当基金が行う被災地支援への助成は、包摂的、最後の一人まで見捨てない、命を守る事業である事をミッションとしています。これは、(株)フルハウスが展開している「決断できる価格で命だけは必ず守る耐震対策」事業と通じ、この事業はミッション・オリエンテッドな事業とします。多くの方の共感を呼ぶ事業となることが期待されます。多くの方への周知にご協力ををお願いいた

「コーディネートマークティングが社会に
もたらすインパクトを大きくするには、売上の
一部を寄付するだけでなく、企業の本業において
社会の課題解決に取り組むコーディネートマーク
ティングのソーシャルビジネス化が効果的
です。「企業の社会活動は、地域の催事などへの
協賛や、「メセナ」（文化支援活動）に代表される
寄付を軸としたものが長く続き、「阪神・淡路大
震災」以降は、「社員のボランティア参加」や
「NPOとの協働」が進展した。そしてNPO法
の施行や行財政改革の進展で自治体とNPOとの
協働が進むなか、企業も市民としての地域で
役割を求められる機会が増え」「企業と震災
結び目が生んだ25のストーリー」2012年
ました。

吉山さんは叔父さんがYMC Aの主事だったこともあり、中学生の時からYMC Aに関わっておられ、当時YMC Aにおられた真嶋克成さんと出会われました。以来、真嶋さんを社会活動の師とし、ボランティア活動に関わり、ソーシャルビジネス志向もお持ちです。

CRMのソーシャルビジネス化

「モノでキフ」はオークションサイト「ヤフオクー」にてみなさまからのご寄付の商品を販売します。落札額のうちご寄付の割合をご自身で決めることができます。

詳細は、当基金ホームページのトップページにある、「モノでキフ」のバナーからご覧いただけます。

・小物類、腕時計、
イヤモンド・宝石類、
・アクセサリー、楽器、
金属、カメラ・レンズ、
ンド食器、高級洋酒、
品・PC類、
け軸・骨董品、
がき・金券・テレカ・切手
寄付いただけます。

古着チャリティ古本ギフトボイントギフト
カイトリに続きまして、もうたいない系寄付第5弾
ができました！



モノ 寄付 から始まる 体験

モノでキフ
はじめました

平成30年度定期総会報告

5月28日18時より定期総会を実施し、以下の議題について審議を行い、承認されましたのでご報告いたします。

平成29年度事業報告並びに決算報告(抜粋)

【経常収益】		8,468,784
受取会費	541,000	
受取寄附金	3,726,257	
受取助成金	2,157,000	
事業収益	2,018,146	
その他収益	26,381	
【経常費用】		8,657,736
事業費		
人件費	3,119,581	
その他経費	4,827,449	
管理費		
人件費	507,838	
その他経費	202,868	
当期経常増減額		△188,952
【経常外収益】		933
当期正味財産増減額		△188,019
前期繰越正味財産		23,924,426
次期繰越正味財産額		23,736,407

- 助成事業では、7つの団体に2百37万9千円を助成し、一団体に特別賞5万円を贈呈いたしました。
- 黒田裕子賞を新設しました。第一回贈呈式を公開審査会と同日に実施し、市川英恵さんに贈呈いたしました。
- 寄付・募金では、3百72万6千2百57円を託していただきました。

- 昨年に続き3つのイベントを実施しました。
- A) チャリティ×防災啓発「ローリングストップ」(ひょうご安全の日推進県民会議助成事業)
 - B) チャリティ・パーク「第2回寄付がつなげるひと育てるまち」(animatching)
 - C) こうべあいウォーク2018(ひょうごボランタリー・プラザ助成事業)
- クつて?」(ひょうご安全の日推進県民会議助成事業)

- (二財)敬愛まちづくり財団設立15周年記念式典開催に協力いたしました。
- 神戸市との協働協定を締結し市民活動応援サポート「つなごう神戸」の管理運営を開始しました。
- ハズソン型NPOマネジメント支援講座を継続して実施しました。
- はあととふるふんど支援事業並びに、チャイルドケモハウス主催のチャリティウォーク事前受付業務を受託しました。

平成30年度事業計画並びに予算(抜粋)

1 助成事業

2 寄付・募金活動

- 助成事業を例年通り実施いたします。
- 寄付つき商品第3弾として、(株)フルハウスのご協力による、耐震補強金具パワープレーントが寄付つき商品としていただきます。その他の寄付つき商品も継続いたします。
- (一社)ウルノスとの提携により、ネットオーパションを利用した寄付システム「モノでキフ」を開始いたします。
- 3その他中間支援事業

【経常収益】		8,230,000
受取会費	710,000	
受取寄附金	3,850,000	
受取助成金	2,000,000	
事業収益	1,650,000	
その他の収益	20,000	
【経常費用】		8,230,000
事業費		
人件費	3,091,450	
その他の経費	4,374,050	
管理費		
人件費	545,550	
その他の経費	218,950	
経常収支差額		0

はあ～とふるふあんど

兵遊協・ハート玉福祉支援事業

はあ～とふるふあんど
平成30年度
支援先決定



(兵庫県遊技業協同組合と神戸新
聞グループで構成)からの受託に
より実施している、はあ～とふる
ふあんどボランティアあしすと部
門で、今年は63件の応募がありま
した。

審査の結果、14の団体に支援が
決定し、6月8日(金)に贈呈式が
行われました。
支援対象団体／事業名は以下の
通りです。

- 1 兵庫県薬物乱用防止指導員
協議会／薬物乱用防止啓発
事業(薬物乱用防止運動兵庫大会)
- 2 いちば自然環境保全隊／
いちば自然環境保全活動
- 3 鳴門海峡クリーンアップ大作戦実行委員会
／「鳴門海峡」クリーンアップ大作戦
伊毘海岸
- 4 (特活)ホザナ・ハウス／
少女の居場所づくり

- 5 兵庫県慶尚南道道民会
／国際地域協力活動植樹事業
- 6 (特活)心幸／福祉有償運送専用リクライ
ニング式車椅子整備事業

7 いなみ野学園O.B 明石会環響ボランティア
グループ／明石海岸及び浜の散歩道を
美化する活動

余暇活動サポート事業

新任のご挨拶
関本英恵
(ろつこう医療生活協同組合)

8 (特活)知的障がいを持つ人の余暇活動を
サポートする会／知的障がいを持つ人の
余暇活動サポート事業

美しくする活動

9 (特活)兵庫さい帯血バンク／
兵庫さい帯血バンク移転事業

子どもへの学習支援事業

10 (特活)阪神つばめ学習会／
日韓友好スポーツ交流支援事業

11 (特活)兵庫日韓未来センター／
多世代交流事業

12 八千代交流広場推進協議会／
多世代交流事業

13 (特活)つなご／子どもシェルター運営事業

14 Place
知的障害者によるコンサートPure
Heart Live／いのちの音)



この度、しみん基金・
こうべの理事を仰せつか
りました。

大学生時代に灘区の復興住宅で

ふれあい喫茶の活動をしていた関係で、
公開審査会で「プレゼンテーションをしたり、
「しみん基金・こうべ特別賞」をいただいた
りしました。残念ながら私は直接お会いす
ることはできませんでしたが、黒田裕子さ
んはご自身の活動にフィールドワーク先と
して先輩たちを受け入れてくださつたり、
私たちのふれあい喫茶に来てアドバイスし
てくださつたりしたこともあつたと伺ってい
ます。

私は個人としては社会人2年目の昨年に
ふれあい喫茶の活動や借上復興住宅問題の
取り組みについて、「黒田裕子賞」をいただ
きました。このように学生時代からお世話
になつていてるしみん基金・こうべの理事をさ
せていただくことに恐縮するとともに、嬉
しく思います。

NPOに関わるのは初めてで、阪神・淡路
大震災も経験していないので、皆さんの
考え方やこれまでされてきた活動について
のお話を伺えるのを楽しみにしております。
私も女性としての意見、若者としての声を
聞いていただき、こんな考え方もあるという
ことをご理解いただいたうえで、
皆さんと社会的な課題解決に向けて議論
できたらと思っています。宜しくお願い致し

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間3千円
団体会員 年間1万円

お申し込みは電話・ファックス・メールなどで、ご連絡いた
だくか、ホームページをご参照ください。

★振込口座

三井住友銀行三宮支店	普通	7 9 6 5 8 9 2
みなど銀行本店営業部	普通	1 5 9 7 9 2 1
近畿労働金庫神戸支店	普通	4 1 6 1 8 5 4
郵便振替	0 0 9 9 0 — 5 — 1 5 7 3 3 4	

口座名義すべて 「しみん基金・こうべ」



当基金は認定NPO法人格のため、当基金へのご寄付
並びに、贊助会費は・・・

個人では、寄付控除を受けられます。
税の優遇措置を受けるには、確定申告をしていました

だいて、その際当基金が発行する寄附金受領証
明書(=領収書)を添付して税務署にご申告をお
願いします。

「小口寄付にも効果のある「税額控除」
高所得者がお得な「所得控除」

どちらかお選びいただいてご申告いただけます。

法人では損金算入限度額が増え、一般のNPO法
人への寄付と比較して経費にできる寄付額の限度
額が大きくなります。
相続人は、相続財産のうち寄付した額が非課税に
なります。

会員数とご寄付のご報告

◆正会員 個人31名 団体3団体
◆賛助会員 個人383名 団体13団体
(2018年5月末現在)

◆新規賛助会員一覧 (敬称略・順不同)
(株)フルハウス、関本英恵、他1団体

◆寄付・募金合計金額 16万5百11円
(株)芦屋西宮市民法律事務所(有)ボック、
(株)夢舞台ウェスティンホテル淡路、
オレンジスリフティ、しみん基金事務所募金箱

◆寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)
中島秀男、飛田雄一、中谷豊、相川康子、ヤフー(株)、
(株)夢舞台ウェスティンホテル淡路、
(株)オレンジスリフティ、しみん基金事務所募金箱
(2018年3月～5月)

※皆様方からの貴重なご厚志に深謝申し上げます。



※ご寄付、会費納入は、クレジット決済もご利用頂けます
のでご活用ください。
当基金ホームページトップページの「クレジットサポー
ター」からアクセスできます!

今年度は赤字額が10万円台になりました!やつたね!
なんで赤字でやつたねやねん!とツッコミが聞こえてきそ
うですが:寄付つき商品第3弾やモノでギフも始まりま
した。引き続きご支援よろしくお願いします。(と)

認定 NPO 法人しみん基金・KOBE

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp

URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

